

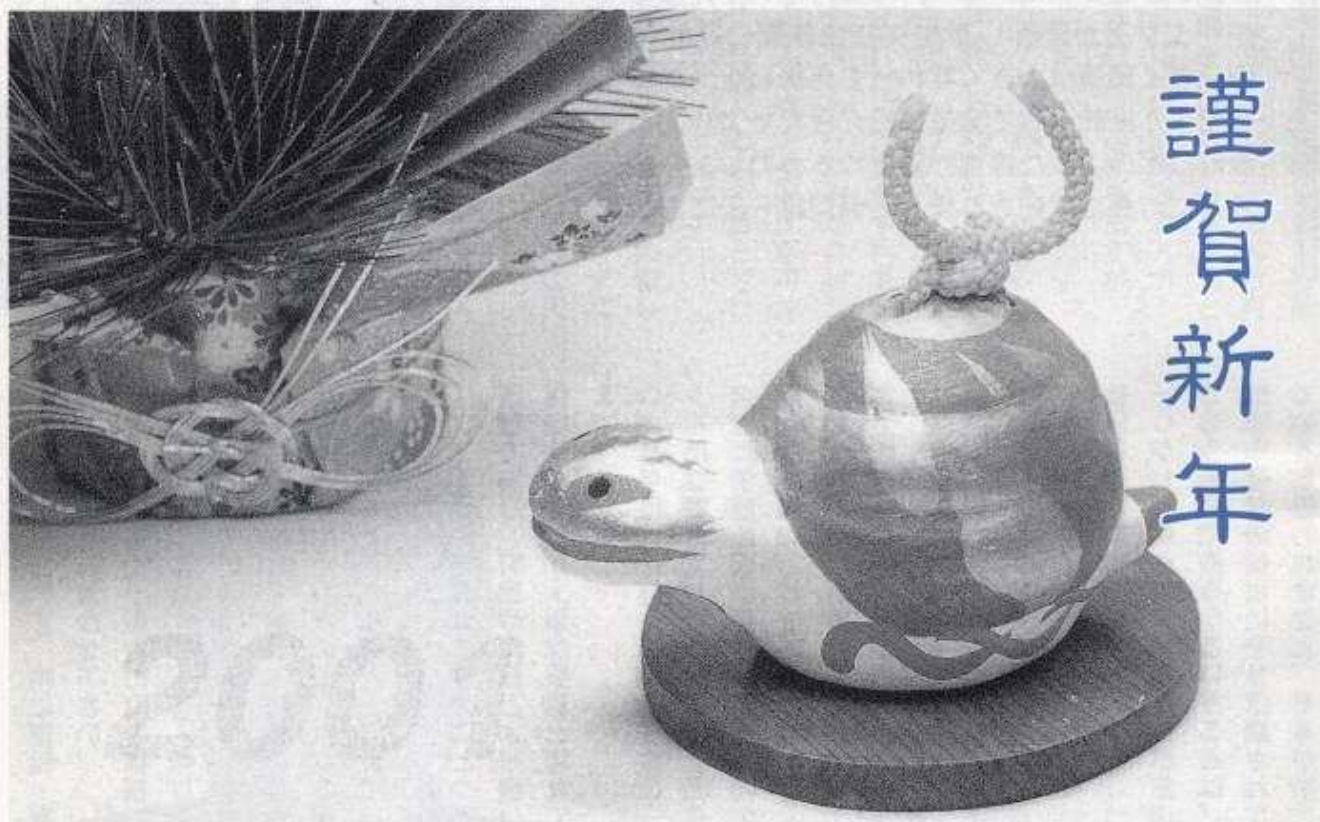
あなたの生きがいと元気を応援する

情報誌

南部ニルバーエリア

老人福祉 ふれあいタウン

第28号 平成13年1月1日発行



謹賀新年

干支（えと）の土鈴

21世紀最初の年の干支は「へび」。その容姿からあまり好まれない動物ではありますが、古来より「財宝を守る神の使い」であり「知恵の象徴」としても考えられてきました。表紙の土鈴は、秋田県心身障害者コロニーの入居者が作成・販売している作品で、縁起の良い宝の山を背負っている様子をあらわしています。



- 21世紀インタビュー……………②～③
- 21世紀ってどんな100年!? こんな100年!? ……④～⑤
- エリアの元気レポート
—あんなことこんなこと—……………⑥～⑦
- 活き活き学園教室紹介・喜努愛楽 ……⑧
- 毎日がリフレッシュ……………⑨
- 私の思い出ばなし……………⑩
- 知ってお得なエリア情報……………⑪
- エリア 利用状況 ほか……………⑫



あの頃あの頃 私の思い出はなに

白木のお盆

在宅老人介護センター
上法 篤子さん



100年前はまっ白なお盆でした。

明茶色のいびつなお盆

もとは白い木でも、固く絞った雑巾で力を入れて丹念に磨く……こうして昔の家の「板の間」や「柱」は重厚な黒い光を放っていました。私のおばあちゃんがいつも使っていたお盆も明茶色に光っていましたが、もとは一枚の板を彫って作られた白木のお盆でした。当時、小学校四年生だった私には、なぜ白いお盆に色が付いていくのか理解できず、ただただ驚いたという記憶が残っています。今では底が変形してしまい、とても使えるような形はしていませんが、今でも見るたびにおばあちゃんと暮らした三年間がなつかしく思い出されます。

おばあちゃんと過ごした想い出の夜

おばあちゃんは昔語りの好きな人でした。そんなおばあちゃんの昔話を楽しみにして離れなかったのは、六人姉弟の中で私だけ。観音様の出てくる話、家の前の橋が夜中に筋交いになる話、それに小豆餅ぎ橋の話などは背筋が寒くなるのを覚え、おばあちゃんに寄り添ったもので

す。また、吐く息も白くなる寒い夜は炬燵で丸くなりながら、おばあちゃんの身振りや口元から目を離す間もなく昔語りの世界に引き込まれていったのです。そんな私と同じ時間を過ごすとき、おばあちゃんの傍らには急須と茶碗、そしていつものお盆がありました。笑顔が絶やすことの無かったおばあちゃんは、お茶がこぼれたといつては何度も拭き、話の合間にも何気なく拭いていました……。日々繰り返されるほんの小さな習慣が、白木のお盆をおばあちゃんの色に染めていました。おばあちゃんが亡くなった後、お盆におばあちゃんの命が宿っているように思えて、母から譲り受けました。

孫と過ごす「永遠の時間」を夢見て

今、私もあの頃のおばあちゃんと同じような歳になりました。そして、あの頃の私と同じ年頃の孫と一緒に暮らしています。ただ違うのは、私と孫の廻りには楽しく興味をそそる物や情報があふれていることです。一つの物を大事に扱い、人の心を大切にして私の想い出になってくれたおばあちゃん……。私もそんなおばあ

ちゃんになりたいのですが、それも難しい時代なのかも知れません。でも、形は違っても私とおばあちゃんが過ごしたような温かい「永遠の時間」を孫と一緒に過ごしてみたいと思うのです。寒さが厳しくなり、なかなか外へ出る機会が少なくなってきたこの季節こそ、神様が雪国で過ごす私たちに与えてくれた「永遠の時間」かも知れません。このお盆でお茶を入れながら、孫といろいろな話をしてみようと思います。



おばあちゃんのような人になりたいと
いつも思っています。

Area 知ってお得意に information エリア情報

新春お楽しみ会

新しい世紀はエリアのお風呂から始めませんか？ みんなが楽しめるエリアからのお年玉企画をご用意しました。

- 日時 平成13年1月4日(木)～1月5日(金)
- 会場 コミセン玄関ホール・新館大広間
- イベント内容
 - 4日…ゆず湯、鏡割り、獅子舞、映写会
 - 5日…歌謡ショー
(津軽漫芸 藤崎三平他)

三三四大会 二〇〇〇シリーズ 第四戦・第五戦

熱かったハズのバトルも2000シリーズは少し参加者が少ないぞ！ 第3戦までのトップは本荘市の西田享平くんだが、ポイント数はまだ逆転可能な53。キミたちの熱い挑戦を待っているぜ！

- 第4戦**
- 日時 平成13年1月7日(日) 午前9時受付、午前10時スタート
 - 会場 屋内運動広場
 - 参加料 1人 300円
- 第5戦**
- 日時 平成13年2月10日(土) 午前9時受付、午前10時スタート
 - 会場 屋内運動広場
 - 参加料 1人 300円

水泳教室のこ案内 第六期、第七期

一年中泳げるエリアのプールで水泳教室を受講してみませんか。子どもからお年寄りまで幅広く募集しています。

- 開催期間
 - 第6期…平成13年1月4日～2月7日
 - 第7期…平成13年2月14日～3月16日
- 場所・問い合わせ先 屋内温水プール

語りを聞く会 「雅楽演奏会」

日本古来の宮中音楽の演奏会。お正月にふさわしい調べを生演奏でお楽しみください。

- 演奏 平鹿雅楽同好会
- 日時 平成13年1月14日(日)
- 会場 新館大広間

入場料無料

編み物教室

コタツに入ってワイドショーもいいんですが、編み物で手先の運動も捨て難い。先生の指導をひとつのきっかけにしてみませんか。

- 日時 平成13年1月24日(水) 午前9時30分～12時
- 課題 花・円座 ■募集人員 20名
- 申込み締め切り 1月18日
- 用意する物 7号鍵針・古い並太か中細の糸を2色で7個
- 場所 研修室 ■問い合わせ先 企画指導課

料理教室

寒い季節にうれしいのが体の芯から温まる料理。家族の団らんに欠かせない逸品を学んでみませんか。

- 日時 平成13年1月31日(水) 午前10時～12時
- メニュー ゆべし・饅頭・チヂミ(韓国風お好み焼き)
- 参加費 1,000円 ■募集人員 16名
- 申込み締め切り 1月21日
- 用意する物 筆記用具・エプロン ■場所 食品加工室
- 問い合わせ先 企画指導課

健康の話を聞く会

日々の生活の中で積み重なった悩みやストレスは、私たちの心のバランスを大きく狂わすことがあります。専門の先生のお話を聞いてみませんか。

- 日時 平成13年2月16日(金) 午後1時30分～2時30分
- 場所 新館大広間
- 講師 県立リハビリテーション・精神医療センター医師
- テーマ 高齢者の心の健康
- 参加者 どなたでも参加できます

参加費無料



藤沢則子パッチワークキルト展

横手市在住でQUILT・MAMA(キルト・ママ)主宰の藤沢則子さんの作品展です。

- 会期…平成13年1月5日～1月31日

ボランティア活動報告 (8/1～11/30)

活動日	個人・団体名	活動日	個人・団体名
8月18日	大森町五日町長生老人クラブのみなさん(4名)	9月29日	大森町袴形第二老人クラブのみなさん(4名)
8月25日	大森町峠町老人クラブのみなさん(4名)	10月5日	大森町八沢木東婦人会のみなさん(24名)
8月30日	大森町婦人会八日町3のみなさん(10名)	10月24日	大森町平野婦人会のみなさん(4名)
9月6日	大森町袴形後村婦人会のみなさん(4名)	10月31日	大森町八沢木東婦人会・阿美多地婦人会のみなさん(8名)
9月15日	大森町菅生田老人クラブのみなさん(4名)	11月15日	大森町太平婦人会のみなさん(4名)
9月20日	大森町小詰沢部落会のみなさん(4名)	11月29日	大森町食生活改善推進員のみなさん(4名)
9月21日	大森町白山小学校なかよしふれあい委員会のみなさん(8名)	11月30日	大森町前田老人クラブのみなさん(4名)
9月23日	大森町日赤松田婦人会のみなさん(4名)		

ありがとうございました。

エリア利用状況

(4月～11月までの累計)

コミュニティセンター

有 料 利 用	今年度	前年度	増 減
宿 泊 人	1,007	1,056	△ 49
休 憩 人	10,935	15,537	△ 4,602
会議室等 時間	74	223	△ 149
屋内運動広場 時間	141	129	12
屋内温水プール 人	15,953	17,399	△ 1,446

シルバーケアセンター

利 用 者 数	今年度	前年度	増 減
利用者数 人	5,086	4,598	488

診療リハビリセンター

利 用 者 数	今年度	前年度	増 減
内 科 人	6,842	7,124	△ 282
リハビリ 人	4,629	4,298	331
歯 科 人	396	498	△ 102

雪まつり

寒さを吹き飛ばした上に思いっきり楽しんじゃおう! というのが、この「エリア雪まつり」。ぜんざいや甘酒の無料サービスの他に、子どもからお年寄りまでいっしょに楽しめるゲームを用意しています。また、夕方から始まるミニかまくらでは、幻想的な雪国・秋田の伝統的な風情を楽しんでいただけます。さあ、みんなでエリアに集合だ!



- 日時：平成13年2月10日(土)
午前10時～午後4時
- 会場：屋内運動広場
エリア玄関前広場

元気いっぱい

スタッフレポート

2級ヘルパー受講生の母(?)

4月に前担当の保健婦から業務を引き継いだ軽費老人ホーム小松田施設長。去る12月15日に講習会の閉講を迎えました。「20名の受講定員に対して100名近い申し込みがあり、需要の多さを痛感しました。たいへん熱心で、全員無事に修了できたことがとてもうれしい。これからもがんばってくださいね。」受講生の活躍を祈りながら、感慨もひとしおの様子でした。



私がお母さんよ♥

インフルエンザ防衛隊

施設と診療所の業務をこなす2人の看護婦が、今年もインフルエンザ予防に立ち上がりました。入居者・シルバーケアセンター利用者そして職員を対象に希望者を募り、11月6日を皮切りにして160名にワクチン接種。新しい世紀は元気に迎えなくちゃネ。

今年の冬は
これでOK!

新年明けましておめでとう
ございます。「世紀末」という
言葉が甚に氾濫し始めてから、
何となく暗い雰囲気を抱えた
まま過ごしてきましたが、今
日から明るく生きて行けそう
な気がします。
福祉関係のちよつと明るい
話から……
フィリップ・グロード神父
が総合施設長を務める両館市
の特別養護老人ホーム「旭ヶ
岡の家」では、一昨年九月に
施設独自で「高齢者の人権憲
章」を発布しました。特に障
害を持った高齢者を意識した
その内容は、「高齢者を大切な
社会の一員」と位置づけると
ともに、「人権の土台は長い人
生に裏付けられた奥深いも
の」であり、「個性はかけがえ
のない宝物」として尊重して
います。もちろん、「職員の処
遇技術の向上」にも言及して
います。
新しい世紀……。福祉の分
野でも、それぞれの法人が具
体的なサービス方針を明示・
公開・実践しようとする積極的な
取り組みを行っています。希
望に満ちた福祉の時代の幕が
今、明けようとしています。

編集後記

大森町の福祉と エリアの役割

大森町長 備前雄一氏
聞き手 吉野企画指導課長

明けましておめでとうございます。
新しい世紀を迎え、
読者の皆様方もいつも以上に新鮮で希望に満ちた
新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

平成2年にスタートした高齢者保健福祉推進10ヶ年戦略（ゴールドプラン）と平成7年からの新ゴールドプラン、あるいは昨年4月に施行された介護保険制度……エリアが開設してからの12年間に高齢者福祉を取り巻く環境は大きく変わってきました。高齢者福祉のモデル施設として全国に紹介されたエリアと地元大森町はどのような連携が望まれるのでしょうか。昨年4月に町長に就任されました備前雄一氏にお話を伺います。

「町政運営において、特に福祉・教育面での抱負をお聞かせ下さい。」

大森町は福祉と教育の町を標榜し、町民の多くがボランティアとして登録・実践している土地柄です。幸い、前町長が全国にも誇れる規模の施設・設備を整えてくれたので、ソフト面を充実させることが重要だと考えています。

「ソフト面の充実がエリアにとっても課題であり、町民や町政とより良い関係を作ることが大事な要素と考えています。」

エリアは「保健・福祉・医療の一元化」「地域交流・世代間交流」「生涯学習などの生きがい活動の推進」を旗印として運営されてきましたし、目的を推進するために各方面との連携を大事にしてきました。こうした当初の設立趣旨、いわば『初心』は職員の心の支えだと思えますので、決して忘れないよう心がけ、事業を遂行してほしいと思います。

しかし、残念ながらエリアがどういう施設であるかということは、近隣市町村の住民に十分認識されていると思われません。PRが不

足しているのではないのでしょうか。私も含めた町民の感想としても、町や地域のイベントにエリアの職員や入居者の参加が少なく、日常の交流機会がないため『敷居の高い場所』という印象がありますね。

「存在をアピールするためにも、地域が望むエリアしかできないサービスを考へて行く必要があると思いますが……。」

地元の白山小学校と養護老人ホームは長く交流を行っているようですが、



そのような小学生を対象にした「福祉教育を提供する場」として、近隣市町村の小学校に働きかけるのも良いかと思えます。町内には特別養護老人ホームや老人保健施設などがありますが、症状が重度化傾向にあり、場合によってはショッキングな場面に遭遇するとも限りません。他の市町村でも同じ事が言えるのではないのでしょうか。その点、エリアであれば、入居者や利用者とレクリエーションや日常的な会話といった簡単な対人ボランティアが可能になり、福祉への導入ということでは条件が揃っています。

「介護保険制度など、福祉行政の新しいも急激な流れの中で、今後エリアに求めるものがあるとすれば、それは何だとお思いますか。」

介護保険の中でも、特別養護老人ホームなどは比較的安定した運営が出来ているようですが、それ以外の事業が全てうまく行っているわけではありません。地道な努力に裏付けられた『信頼』があればこそ、制度が変わっても対応できるのではないのでしょうか。『初心』に帰った気持ちで目的に向かっていけば、古くて必要のないことや新しく取り組むべきことが自ずと見えてく

るはずですが。エリアは、年齢や性別を問わず誰でも集い、友だち作りができる素晴らしい空間です。子どもたちにとっては、安心して遊べる場所であると同時に、創作技術や福祉を通じた社会との関わりも学べる場所。こうした他の施設ではできない事業のPRを積極的にを行い、近隣市町村の皆さんに知っていただくことが大事だと思います。そのためにも、施設からどんどん外へ出ていき、いろいろな場所やイベントに顔を出されてはいかがでしょうか。地域の皆さんの『信頼』に応えるべく、がんばっている職員の顔や仕事の内容がぐっと近づくはずですよ。



■備前雄一氏のプロフィール

初当選。昭和22年2月23日生まれ。青山学院大学経済学部卒。昭和47年に町議に初当選、連続7期を務めた。議会副議長、総務文教委員長を歴任。元JA秋田おおもり組合長。町観光協会会長、町商工会理事、秋田県社会福祉事業団理事。酒造業。宇大森169。

今回からシリーズでエリアに関する人物のお話を伺い、エリアに望まれる方向性を探ってみたいと思います。

「ありがとうございます。お伺いしたお話をよく検討して、今後の事業運営に生かして参りたいと思います。」

21世紀ってこんな100年!?

こんな100年!?

エリア入居者と大森町立白山小学校児童の皆さんは、日ごろからいろいろな活動を通じて心あたたまる交流を行っています。新しい世紀が幕を開けた今、波乱の二十世紀を駆け抜けてきた入居者からは希望に満ちた未来へ羽ばたく子どもたちへのメッセージを、子どもたちからは夢を教えてくださいました。

なっって欲しいなごん人



老人専用マンション
井川すまさん

他人を思いやる豊かな心

10年前、丘陵に氷山を見るような鳥海山の茜に染まりゆく美しい風景に感動しながら、入居して初めての新年を迎えました。あの時の感動を回想しながら、今年もつつがなき年であることを祈りたいと思います。

入居当時、私と夫は土地に慣れぬ寂しさからよく散歩に出ました。その折、見知らぬ子どもさんが私たちへ挨拶してくれたことに大変深い印象を受けました。都市部ではこのようなことは失われてきておりますだけに、とても新鮮でうれしく、心が和み、幼い頃の父母の教えを思い出しました。遠い昔がよみがえった様な懐かしさを覚えたものです。

子どもさんから受けた挨拶の言葉が、これ程までに私たちの心に響いてくるとは……。一期一会で交わす優しい言葉の大切さを改めてこの身に感じました。学校と家庭の一貫した教育に人への優しさが養われているのでしょうか。子どもさんたちがより多くの学びや経験を通じ、他人を思いやり、また他人の痛みをわかる心豊かな人になることを21世紀の将来に夢を託したいと思います。

自分自身を見失わないで



軽費老人ホーム
大野隆次さん

優しい心に願いを込めて

私には、サトコちゃん、ナツミちゃん、ノリコちゃん、チカコちゃん、カツラちゃん、ユウキ君、トシノブ君、タロウ君、ヨウスケ君など多くの友だちがいて、いつも遊びに来てくれたり、親切にしてくれたりします。私の大好きなこの子どもたちが、二十一世紀という新しく難しい時代に、幸せに生きて欲しいと思います。私の考えていることを書いてみます。

私は、一九三〇年生まれの子の七十歳です。私たちが中学を卒業するまでは、日本中が戦争の時代で、中学生達は毎日、教練（戦争の訓練）ばかりしていました。それに、多くの男の人たちは戦争のため外国へ招集されていったので、農業が忙しくなると田植えや稲刈り、稲上げなどの勤労奉仕でさっばり勉強することができませんでした。戦争が終わると、今度は経済の建て直しのため、家族も健康も犠牲にして全ての国民が夢中で働きました。やがて、世界一の金持ちになった日本は、自然の破壊・空気の汚染、心のおごりによる犯罪などを引き起こし、「優しい心」を失ってしまいました。そして私たちは、こうした悪い環境のまま次の世紀を君たちに引き継ぐことになったのです。IT革命を進める物質万能主義の二十一世紀になっても君たちは、今の「優しい心」を持ち続けて、みんなの手をつないで仲良く生きていってください。

最後ですが、私は半生をアフリカなどの貧しい人々を助けるために、懸命に頑張ってきたことを誇りにして、老後を生きていきます。

どんな発明がほしいか



白山小学校6年生
長谷山宗輝くん

二十一世紀に 発明したいもの

白山小学校では、「あったかハート」と題して、人や地球環境に対しての真心・工夫について調べています。その「あったかハート」の中に、視覚障害者の点字・聴覚障害者のための手話があります。今までに多くの人々の苦勞により、これらの手段は作られました。

しかし、目・耳両方に障害を持つ人、または身体の筋肉に障害を持つ人の場合、自らの意志を伝えるのは非常に困難です。

そこで、二十一世紀に発明するとしたら、脳波を使って会話できる装置を発明したいです。もし、脳波だけで、身体を使わずに意志を伝えられれば、「身体のパリアフリー」より大切な「心のパリアフリー」が一層進むと思います。

あったかハート大作戦

白山小学校

6年前、フリーマーケットを始めようとして取り組んだ活動の輪が、「あったかハート」という児童会の大きな行事になりました。この活動はボランティアとリサイクルが大きな柱になっており、「まわりの人に温かい気持ちで接する」「まわりの物（資源や環境）を大切に使う」という目標を掲げながら、全校児童で手話・車椅子の体験やアルミ缶回収・ペットボトルのペインティングなどのリサイクルを行っています。去る10月29日には、各教室をいろいろなコーナーに分けて体験・展示する「あったかハート大作戦」を実施。家族も参加し、みんなの心に「あったかハート」が伝わりました。



緑を多くしてみたいな



白山小学校6年生
大友結加里さん

わたしたちの21世紀

私が21世紀に欲しい社会は、森林がたくさんあってゴミのない社会です。最近のニュースでゴミをそのまま埋めたと続けると、日本中がゴミだらけになってしまうと聞きました。自分たちからゴミを減らす何かをしなければいけないと思います。私たちの学校でも取り組んでいる、リサイクルを広めていかないといけないなあと思いました。白山小学校では、「あったかハート大作戦」という集会で、ペットボトルやビンにペインティングして新しい物に作りかえたり、ケナフや牛乳パックなどで紙すきなど、リサイクル活動をたくさんしています。また、なぜ森林が大切かということ、車の排気ガスなどから出る二酸化炭素などで汚れた空気をきれいにできるのが森林だからです。水を蓄えたり水をきれいにもしてくれます。森林はとても大事なものであるため、増やせるように努力していかないといけないと思いました。

私たちの21世紀は、みんなで協力しあい、気持ちよく過ごせるようにしたいです。

次号は福田隆恵さんと佐藤恵理佳さんの夢を教えてください。

秋の祭典 2000

11/3
11/5

「エリア入居者と地域住民の文化交流の場」であり、「生涯学習の成果を発表する場」でもある文化の祭典が、のどかな秋空が広がる中、白山・前田・坂部マーチングバンドと横手城南高等学校JRC同好会のステージで盛大に幕を開けました。今回の出展作品数は二六一と昨年を上回り、地域住民の作品や新しい分野に挑戦した方々の作品が目につきました。また、五日に行われた展示即売会とフリーマーケットも盛況で、一杯一〇〇円のイモの子汁が体をあつためてくれました。



即売会場は、たくさんの人でにぎわいました。



元気いっぱい！
ちびっこマーチングバンドの登場！（開会式）

出展作品の審査結果

- 学園長賞…伊藤豊野(書道)
- 推進委員長賞…中田一男(書道)
- 奨励賞…菊川シゲ(書道)、高橋千工(書道)、高橋智加(木工)、小原美子(木工)、渡部アイ(陶芸)、伊藤イエ(民芸)、高橋ツ子(民芸)、阿部春枝(民芸)、佐藤キヌ(華道)、遠藤勝子(華道)、長谷山照子(切り絵)、赤川ケイ子(切り絵)、藤原キヨ(その他)、矢野カツ(その他)
- 努力賞…村上ナナ子(書道)、利順二(木工)、柿崎廣子(木工)、太田紀子(陶芸)、斎藤ヨネ(民芸)、上法篤子(民芸)、赤川アツ(華道)、佐藤キサ(華道)、三浦修治(切り絵)、加藤サキミ(その他)
- シルバー賞…伊藤ミツ(その他)



合唱グループ「ヴィオーレ」の
美しい歌声（発表会）



秋雨の合間を縫って顔を覗かせた日差しがまぶしい中、大森町民体育館を会場に敬老会が行われました。エリアからは8名参加しましたが、全町から集まったお年寄り約500名。大森町では全人口に占めるお年寄り(70歳以上)の割合が20%を越えており、高齢化現象は深刻な問題ですが、来賓の県議会議員・柴田康二郎氏はアメリカの作家サムソン・ウルマンの言葉を引用し、「たくましく、しなやかな肉体を持っている時が青春ではない。社会のために役立つという熱い情熱がある限り、いつまでも青春は続く。」と、「老人パワー」で社会を盛り上げるよう檄を飛ばしてくれました。

青春まつただ中

大森町敬老会 9/13



まだまだ青春！ 体育館に情熱の嵐が吹き荒れた。

9/30

南部シルバーエリア杯

ゲートボール大会

エリアの主な行事

(8/23~12/28)

- 8/23 健康の話を聞く会
- 9/17 菅生田地区の運動会
- 9/18 エリア敬老会
- 9/21 日帰り旅行 (マ)
白衣観音菩薩法要
- 9/23 語りを聞く会
- 9/26 2級ヘルパー養成講習開講
- 10/4 日帰り旅行 (養)
- 10/18 総合防災訓練
- 10/20 秋の自然を楽しむ会 (シ)
- 10/24 日帰り旅行 (軽)
- 11/6~ インフルエンザ予防接種
- 11/7 心の通う会
- 11/16 ふれあいお楽しみ会
- 11/30 語りを聞く会
- 12/3~ チャレンジ・ザ・冬
- 12/9 プール・レクリエーション大会
- 12/13 忘年会 (養)
- 12/15 2級ヘルパー養成講習閉講
- 12/19 クリスマス忘年会 (シ・軽・マ)
- 12/21 クリスマス会 (養)
- 12/23 クリスマス&もちつき会

※(シ) シルバーケアセンター
(養) 養護老人ホーム
(軽) 軽費老人ホーム
(マ) 老人専用マンション

本荘由利郡の一部を含めた県南地区の元気なお年寄りが集まって、生きがい交流広場を会場に行われました。今回は参加チーム数が50チームと過去最高。10コートに分かれての総当たり戦では、全勝のチームが4チームもあり、順位は得失点差と得失点率によって決定される混戦になりました。成績は次のとおりで、シルバーケアセンターチームは4勝0敗と善戦しながら、得失点率で惜しくも4位。初出場の本荘由利地区の好成績が印象的でした。

優勝：蛭野チーム(平鹿町)
準優勝：シユガーズ(東由利町)
第三位：横手市館チーム(横手市)
敢闘賞：大内チーム(大内町)



かっこえーなや…。

なつメロと踊りの会・歳末助け合い

チャリティショー

11/19

歌と踊りが73曲という豪華版で贈るチャリティショーが、大森町コミュニティセンターで行われました。出場者は幼児からお年寄りまでの幅広い年齢層で、800冊用意したパンフレットが完売という大入り満員。毎月行っているなつメロと踊りの会とは一味違った熱気に包まれました。エリアからは軽費老人ホーム入居者の矢野カツさんと大野隆次さんが歌で参加。

過ぎゆく秋のひとつき、各自が持ち寄った特製の弁当を食べながら、懐かしい歌と踊りで心を潤しました。



大観衆の前での演舞。熱が入ります。



巧みな話術で町内のお年寄りのハートをつかんだ司会者：佐々木和公

さつまいも掘り

10/7

雨続きの合間、絶好の天気にも恵まれたさつまいも掘りには、大森町内の親子がたくさん参加してくれました。今年は夏場の雨が少なく芋の生育が心配されましたが、掘り進むに連れ、子どもたちの廻りにはまるまる成長したさつまいもがゴロゴロ。何日も前からこの日の準備をしてくれた生きがい創作館の斎藤館長が作った「ふかし芋」や「焼き芋」を、秋空と家族の笑顔をおかずにしておいしくいただきました。



大漁、大漁。太っちょお芋が顔を出した！



何といても健康が一番ですね。

第3回 水泳教室

- 講師…宮野 誠 司 (エリア職員)
- 開催日…毎月第4水曜日 午前10時30分から

生き生きする園
教室紹介

受講生の声

昨年の春から、気分転換のつもりで参加しています。エリアに入居している方々とも友だちになれて良かったと思っています。

大森町在住
村上 道子さん (峠町)
高橋 若子さん (上八沢木)



一年中利用できる屋内温水プールを会場にして、毎月一回開催しています。水には浮力があるので水中での歩行や軽い運動は、筋力の維持・増進に効果があるとのこと。この日も男性五名、女性十六名（最高齢者は七十六歳）が受講していましたが、このうち大森町内からは五名が参加。教室とは別に、そばには自主的に水泳に取り組むお年寄りもおられ、心地よい汗の中に、自らの健康に対する関心の高さがうかがえる教室です。

みんなに見せたい 私の力作・自信作

田口 花子さん
(大森町在住)

8年ほど前から『アカンサス教室の木彫り』に魅せられ、生きがい創作館に通い続けている田口さん。製作の場は専ら自宅とのことです。月に3回ほど集まって、先生の指導を受けたり創作仲間と交流することを楽しみにしています。完成を楽しみに毎日手を動かす、次はああしようこうしようと思いを巡らすうちに、知らず知らず忍耐や根気がついていく気がするそうです。年を取ってからとか年を取ったからと言わずに、時間を見つけて何か始めてみてはどうですか？ 田口さんからの提案です。



大きな作品になると1年がかりになるそうです。



喜
努
愛
楽

木工教室の作品から

毎日が リフレッシュ



あや〜。えく来てけたごどオ。
サービスもえっぴやさせても
らうよ!

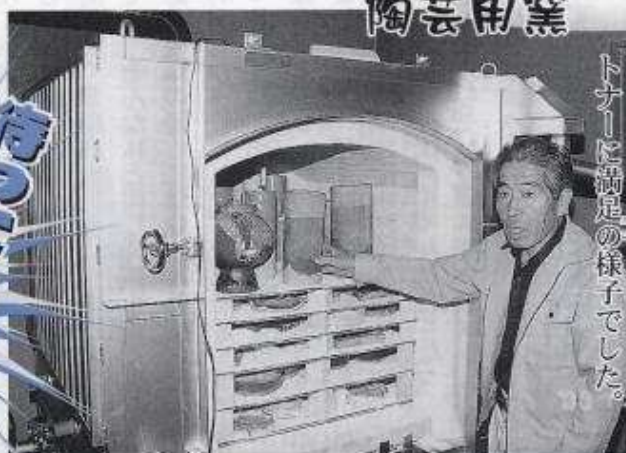
松井良子さん

シルバーケアセンター

国道一〇七号線は雄物川町大沢地区。夏はスイカ・メロンとトウモロコシ、秋から冬にかけてはリンゴや梨と、息子さん栽培している農産物を小さな店舗で笑顔と一緒に販売しています。にぎやかで明るい松井さんのお店には、近所のお父さんやお母さんが気軽に立ち寄り、長距離トラックや営業で走り回るドライバーの常連客もたくさんいるそうです。平日は夫婦でエリアに来ますが、土日の書き入れ時は「松井果樹園」の看板娘に変身してがんばっています。



陶芸用窯



作品の焼きあがりに満足の齋藤館長

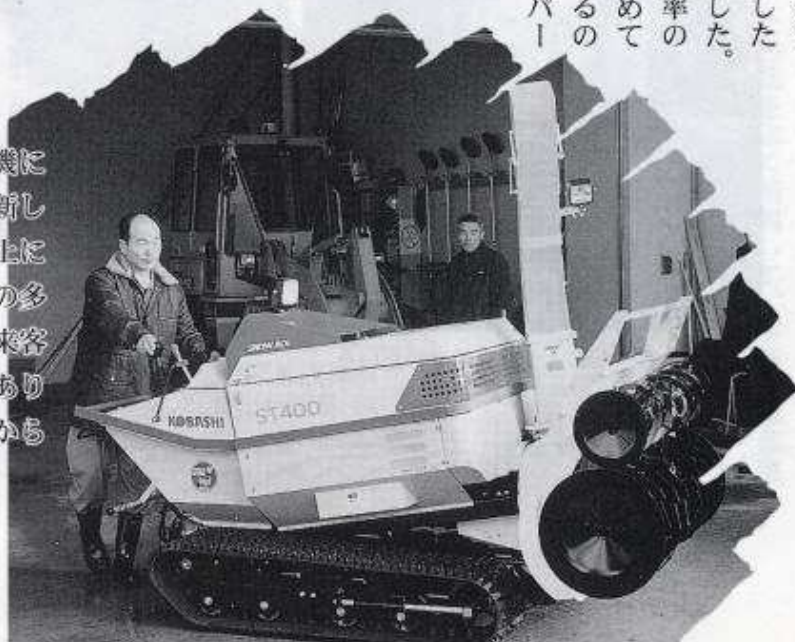
活き活き学園にチャレンジ教室、もちろん自主的な創作活動は毎日……。生きがい創作館がオープンしてから休む暇もなく活躍した陶芸用の窯が、老朽化に伴い更新されました。新しい窯はちよつと小振りですが作業効率の良い台車式。齋藤館長も「温度管理も含めて操作しやすく、窯内温度が均一化しているのて質の高い作品が期待できる。」と新しいパートナーに満足の様子でした。

エリアの
新戦力

毎にまじりました!

除雪機

まる12年稼働した30馬力の除雪機に替わり、40馬力のパワフルな機械が新しい戦力に加わりました。小高い丘の上にあるエリアは、役場周辺に比べて雪の多い場所だけに、入居施設の避難路や来客用通路の確保に苦勞してきた経緯があります。どんな活躍をしてくれるか今から楽しみです。



とっさり降るのが今から楽しみ♥